

牧之原市監査委員告示第8号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第14項の規定に基づき、牧之原市長から監査の結果に基づく措置を講じた旨の通知があったので、次のとおり公表する。

令和5年12月28日

牧之原市監査委員 飯塚 穂
同 植田 博

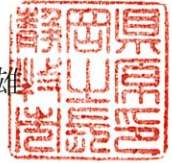


牧 総 第 213 号
令和5年12月27日

牧之原市監査委員 飯塚 貴穂 様

牧之原市監査委員 植田 博巳 様

牧之原市長 杉本 基久雄



令和5年度 学校監査に関する報告及び意見について

令和5年10月31日付け牧監第85号により通知のあった令和5年度 学校監査に関する報告及び意見について、別紙のとおり措置状況を報告します。

牧之原市役所総務課

担当：八木

電話：0548-23-0050



令和5年度の監査指摘事項に対する措置状況について

地頭方保育園

令和5年度の実地監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>【子ども子育て課】</p> <p>(1) 郵券の管理について、受払簿と郵便切手の現物の保管状況について適切に管理されていた。また、写真代は外部サービスに移行し、絵本代は保護者が持参した日のうちに預金に入金する等、なるべく園で現金を保管しないよう工夫している。今後も適切な管理と事務処理に努めていただきたい。</p> <p>(2) 消火器や火災通報装置、防犯カメラ及び遊具等の点検については、児童や職員の安心安全に関わることのため、今後も法令等に基づき適切に実施していただきたい。また、避難訓練についても日常的に防犯に対する意識を高めるよう努められたい。</p> <p>(3) コロナ禍を経て地域との繋がり希薄化が懸念される中、当園は積極的に地域との交流を図っている様子が見受けられる。幼稚園との統合を控え、地域の理解を得て円滑に移行するためにも、より一層地域との交流を深めていただきたい。</p>	<p>(1) 今後も適切な管理と事務処理に努めます。</p> <p>(2) 今後も法令等に基づき点検業務を適切に実施していきます。また、月に1回の避難訓練においても日常的に防犯に対する意識が高めることが出来るよう取り組んでいきます。</p> <p>(3) 保育活動において、地域の理解や協力が重要なため、より一層の地域との交流を深めていきます。</p>

令和5年度の監査指摘事項に対する措置状況について

地頭方小学校

令和5年度の実地監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>【教育総務課・学校教育課】</p> <p>(1) ICT化の推進について、児童一人一台端末の導入により、個別学習及び指導のほか、意見交換ツールとして活用するなど、学習内容の幅が広がっている。今後も、ICTを積極的、効果的に活用した授業づくりに努めるとともに、教員への支援としてICT指導員が活用されるよう充実を図っていただきたい。</p> <p>(2) 施設や遊具等の点検については、児童の安心安全に関わることのため、今後も法令等に基づき適切に実施するよう努められたい。また、施設設備に係る修繕についても、優先順位をつけ適切に対応していただきたい。</p> <p>(3) 子どもの健やかな成長について日々御尽力いただいている中で、コロナ禍による子どもたちへの身体面や心理面への影響等、新たな課題に直面することもあると思われるが、丁寧に対応していただきたい。</p>	<p>(1) ICT推進委員が中心となり、日常的にICTを活用した授業づくりに取り組んでいます。 ICT支援員には授業の準備や校務の補助をお願いし、より充実した学校運営に力を貸していただいております。</p> <p>(2) 職員全員で毎月安全点検を行っています。御指摘いただいた箇所は、教頭と事務職員で再確認し、安全に関わる場合は早急に対処していきます。経常修繕以外は予算の都合上、教育総務課にも報告し対応しております。</p> <p>(3) 登校を渋りがちな子どもへの対応としてほっとルーム（相談室）を個別学習の場として提供するなど、子どもの心に寄り添った対応を心掛けています。</p>

令和5年度の監査指摘事項に対する措置状況について

菅山小学校

令和5年度の実地監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>【教育総務課・学校教育課】</p> <p>(1) 給食費における実地監査当日の未納状況について、現年分は数件あるものの過年分はなかった。未納者への対応マニュアルは教員と事務職とで共有され、各家庭の事情に合わせて丁寧な対応をしている。今後も保護者に寄り添い、関係を大切にしていきたい。</p> <p>(2) 災害に備えて日頃からの訓練や施設の整備点検は非常に大事なことである。業者による防災設備点検以外にも、災害発生時に実際操作する教職員において日常的な点検を実施し、防災備品の不備や施設の老朽化等による危険な箇所の有無を早期発見することで、児童が安心してける教育環境を整えられたい。</p>	<p>(1) 今後も、保護者へのわかりやすい説明を心掛け、年度内中に納付いただくよう理解を得ていきたい。</p> <p>(2) 御指摘のとおり、災害発生時に実際操作するのは教職員であり、第一発見者になる可能性が高いのも教職員である。本校でも、全職員が小グループになって、毎月、安全点検をし、施設の老朽化や危険箇所がないかを調べているが、今後は、より防災についての教職員の意識を高めていくようにしていきます。</p>

令和5年度の監査指摘事項に対する措置状況について

萩間小学校

令和5年度の実地監査において、監査委員が指摘（意見・要望）した事項に対する措置状況

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>【教育総務課・学校教育課】</p> <p>(1) ICTを活用した授業について、普段意見を発表することの少ない子どもも意見を述べるのが容易である等メリットを感じている様子があった。今後も学校生活に積極的、効果的に活用した授業づくりに努めることで、なお一層の指導体制の充実を図っていただきたい。</p> <p>(2) 創立145年の歴史をもつ小学校は、建設から50年以上が経過している校舎や設備については、修繕等で補修しながら大切に使用され、また、様々な学校行事の活動には地域の協力が得られていることから、今後もますます地域と積極的に交流し特色ある校風を育てていただきたい。</p>	<p>(1) ICTを活用した授業については、子どもの発達段階に応じた取組の違いや、教職員の意識や技能によっても取組状況に違いが生じている実態があったため10月20日にICTを活用した授業内容についての校内研修を実施しました。</p> <p>全学年の取組状況の報告と、授業で効果的に使用できる取組について紹介し合い、その後の実践に役立てています。苦手意識をもっていた職員も「これならできそう」という意欲を持つことにつながり、その後の活用率が向上しています。</p> <p>(2) 学校運営協議会の開催や、コミュニティ・スクールディレクターがパイプ役となっていることで地域との交流が深まっています。体験活動の支援や環境整備は引き続き実施していただいております。11月には、6年生のミニ音楽会に地域のお年寄りの方々をお招きし、好評を博しました。今後は子供たちが地域に出掛けて交流する活動も考えていきます。</p>

監 査 指 摘 事 項	措 置 状 況
<p>(3) 防災訓練については、児童への予告なし訓練を含み、年4回の実施をしているが、災害はいつ発生するのかわからないため、いかなる場合でも安全に避難できるように、日常的に防災に対する意識を高めるよう努められたい。</p>	<p>(3) ニュースで災害について報道される度に、各教室において子どもの発達段階に応じた話をするよう、打合せで職員に伝えています。また、月に一度全校児童が集合する一斉下校時における教職員の話でも交通安全や防災意識の向上を目的とした話を取り入れています。</p>